

## 2016年度の事業報告

### 事業の概要

#### 1. 社会福祉事業

<1>自動車購入費助成（予算：10,000,000円）

2016年度は、助成する福祉団体の募集対象を西日本地区として、6月から7月にかけて公募したところ、104件の応募があり、2016年9月20日開催の選考委員会で、10団体に対し合計約1,000万円の助成を決定しました。

#### 自動車購入費助成 助成先一覧

所在地	団体名	主な事業 ※事業の一部を紹介	助成金額 (万円)
滋賀	特定非営利活動法人 しが盲ろう者友の会	盲ろう者（視覚と聴覚の両方に障害を持つ人）の自立と社会参加促進の支援活動	100
大阪	特定非営利活動法人 互楽会	無添加の原材料でおかきやあられの製造販売などを通じ障害者の自立を支援	100
大阪	特定非営利活動法人 地域生活ネット ゆっくりっくかわちながの	障害のある人、非就労の人、高齢者などが共に働き稼ぐ共働事業所の運営	100
兵庫	特定非営利活動法人 兵庫大阪ヒューマンホープ	封入作業や製品の加工、組立、製造などの軽作業を通じた就労支援と就職斡旋	100
岡山	特定非営利活動法人 いるかスマイル	金属リサイクル・サンキャッチャー等の雑貨作りで一般就労を目指す	100
岡山	特定非営利活動法人 ワークサポート	小箱・小物の梱包作業、農業としてもち麦の生産、お弁当配食と高齢者の見守り	100
熊本	特定非営利活動法人 舞勢	青果物のパック詰め作業や木耳の乾燥・収穫作業、段ボール製品の加工	100
熊本	NPO法人 誠桜の樹	重症心身障害児(者)に対する生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス	99
鹿児島	特定非営利活動法人 ともいき	お弁当・お惣菜の製造・販売を通じた職業能力訓練・就労支援、家族の支援	100
沖縄	NPO法人 夢WALK	障害やひきこもり、不登校、ニートなどの若者の居場所づくり、生活訓練	100

＜2＞NPO基盤強化資金助成（予算：16,000,000円）

2016年度は、9月から10月にかけて、『「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成』は東日本地区を対象に、「認定NPO法人取得資金助成」は全国で募集しました。

それぞれの応募数は、『「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成』は137件、「認定NPO法人取得資金の助成」には49件、合計186件でした。

2016年12月8日開催の選考委員会で、『「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成』は以下の21団体、「認定NPO法人取得資金の助成」は以下の20団体、計41団体に対し合計約1,600万円の助成を決定しました。

**NPO基盤強化資金助成先一覧**

**「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成先一覧**

所在地	団体名	助成する事業の概要	助成金額 (万円)
北海道	特定非営利活動法人 はあと	クリーニング仕様自動結束機を購入し、時間と安全面の確保	50
北海道	特定非営利活動法人 遠軽町手をつなぐ育成会かたつむりの会	住民とNPOが紡ぐ「共生まちなかカフェ」開設準備	50
宮城	特定非営利活動法人 みやぎ発達障害サポートネット	オリジナルプログラムの構築と、発達障害児への支援者育成講座の実施	50
福島	特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ	町内の困りごとの手伝いを通じた若年無業者の自立支援	50
埼玉	特定非営利活動法人 市民後見センターさいたま	成年後見制度の啓蒙と普及、後見制度を中核とした問題解決の推進	47
埼玉	特定非営利活動法人 クッキープロジェクト	バリアフリー研修プログラム開発による「まぜこぜ」のまちづくり	50
千葉	特定非営利活動法人 子育てネットワークゆっくく	台所改修と必需品購入による「子ども食堂」の開始	50
東京	特定非営利活動法人 3keys	経営基盤の強化に資する会計処理の内製化	50
東京	特定非営利活動法人 小金井市精神障害者地域生活支援協議会	相談や利用者増を目指すホームページの開設	50
東京	特定非営利活動法人 レジリエンス	性暴力・虐待によるトラウマの症状を理解する冊子作成および講座開催	49
東京	特定非営利活動法人 ピアサポートネットしゅば	相談支援プロセスの再構築による支援員の資質向上	50

所在地	団体名	助成する事業の概要	助成金額 (万円)
東京	特定非営利活動法人 ユースコミュニティー	学習支援スタッフ研修および講師スキル認定制度	50
東京	特定非営利活動法人 おもちゃの図書館全国連絡会	全国の活動情報収集、発信強化事業	50
東京	特定非営利活動法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会	ひきこもりに対する社会的理解と連携力向上のための 広報力強化	49
神奈川	特定非営利活動法人 laule'a	児童(指定障害児)発達支援	45
神奈川	特定非営利活動法人 レジスト	精神障害者の生活の現実を当事者と支援者が学ぶりカ バリーカレッジ	48
神奈川	特定非営利活動法人 横浜市視覚障害者福祉協会	視覚障害当事者への情報提供ホームページの拡充	31
岐阜	特定非営利活動法人 プラス・ワン	ホームページ制作と食品ラベルの作成による餃子売上 アップ	50
静岡	特定非営利活動法人 スマイルベリー	心とカラダに効く里山ハーブプロジェクト	50
三重	特定非営利活動法人 どんぐりの会	広域対応型学童保育のスタッフのスキルアップ	50
三重	特定非営利活動法人 あぐりの杜	さをり織り機を購入し、利用者の受け入れ枠を増やす	50

「認定NPO法人取得資金の助成」の助成先一覧 ※以下20団体に各30万円を助成しました。

所在地	団体名	団体の主な活動内容(認定取得の目的)
宮城	特定非営利活動法人 アフタースクールぱるけ	障害児・者とその家族が、安心して生活することができる地域社会の構築
山形	特定非営利活動法人 アジェンダやまがた	山形市中心市街地で音楽による福祉事業を展開し地方創生に貢献
福島	NPO 法人 ふくしま30年プロジェクト	放射線防護に関して「自ら測り、考え、判断する」社会基盤づくり
栃木	特定非営利活動法人 蔵の街たんぽぽの会	子育て支援と環境整備を通して人と人が支えあう地域社会づくり
東京	特定非営利活動法人 なかよし会	身近な地域から障害者(児)に対する理解を促進
東京	特定非営利活動法人 東京多摩いのちの電話	危機介入および自殺予防のための電話相談、普及と啓発
東京	特定非営利活動法人 エッジ	ディスレクシア(読み書きの障害)の調査研究、サポート
東京	特定非営利活動法人 環の会	子どもの命と人生を守るための特別養子縁組を含めた相談と支援
東京	特定非営利活動法人 アビリティクラブたすけあい 練馬たすけあいワーカーズふろしき	地域でたすけあいの仕組みを活かしバリアフリーな居場所を目指す
静岡	特定非営利活動法人 静岡司法福祉ネット明日の空	被疑者・被告人の段階で釈放された方々のための社会復帰支援活動
愛知	特定非営利活動法人 名古屋ろう国際センター	外国人・日本人聴覚障害者(児)の日本語支援
愛知	特定非営利活動法人 名古屋コダーイセンター	子どもにとって望ましい環境づくりを普及
大阪	特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会	クリニックラウン(臨床道化師)による小児病棟への訪問
大阪	特定非営利活動法人 ノーベル	発熱等で保育園に登園できない子どもを預かる訪問型病児保育
大阪	特定非営利活動法人 メリーミーズ	児童養護施設退所後の子どもの育成と社会的自立をサポート
兵庫	特定非営利活動法人 みなみ会	子どもに対する学習支援、地域行事活動参加の支援
兵庫	特定非営利活動法人 あけび	障害者(パーキンソン病)の社会参加支援
兵庫	特定非営利活動法人 保育ネットワーク・ミルク	乳幼児からの児童預かり保育、子育て支援活動
岡山	特定非営利活動法人 ポケットサポート	病弱児への学習支援と交流、社会体験支援
長崎	特定非営利活動法人 昴	障害者、高齢者、子どもの相談支援、フードバンク事業

< 3 > 海外助成（予算：4,000,000 円）

海外の社会福祉の向上を目的に「海外助成」を実施しました。

2016年度は、募集対象国をASEAN加盟国ならびにインドとし、募集対象国に本部あるいは活動の主要な拠点事務所を置き、社会福祉分野で活動する非営利団体を対象に9月から11月にかけて公募したところ、募集対象国に在住する日本企業の現地駐在員の推薦による10件の応募がありました。

2016年12月8日開催の選考委員会で、以下の5団体に対し合計約440万円の助成を決定しました。

海外助成先一覧

国	団体名	助成金の使途	助成金額
カンボジア	Caring for Young Khmer (CYK)	小学校の就学率をあげ、中退を減らすために、5つの農村部で幼児教育施設(幼稚園)を整備するプロジェクトに教材を助成する。	(約100万円) 9,000USD
マレーシア	PERSATUAN KANAK-KANAK ISTIMEWA AMPANG (Special Children Society of Ampang) (アンパン知的障害児デイケアセンター)	障害児の生活・就労支援センターの増築工事に際し、ソーラーパネルを助成し、団体の収入の安定による財務基盤強化につなげる。	(約100万円) 40,000MYR
ミャンマー	Myanmar National Association for the Blind (MNAB)	視覚障害者の当事者が中心となり運営している団体に点字ディスプレイ、拡大読書機を助成。 障害のあるスタッフが効率的に業務を遂行できるようにする。	(約70万円) 6,000USD
シンガポール	Singapore Association of the Visually Handicapped (SAVH) (シンガポール視覚障害者協会)	高齢の視覚障害者のデイケアセンターで、リハビリや介護サービスを行うプログラムの費用を助成。	(約80万円) 10,000SGD
タイ	DDD foundation (Don't Drive Drunk Foundation)	学校で子どもにヘルメットを寄贈。子どもを通じて家庭でもモーターバイクの飲酒運転の危険とヘルメット着用に対する認知度向上を目指す。	(約90万円) 280,000THB

# 2016年度「NPO基盤強化資金助成」各地の贈呈式と新聞記事



贈呈書の授与 高橋理事

擔保ジャパン「NPO基盤強化資金助成」首都圏贈呈式  
日本興亜福祉財団

市民活動の中核として期待  
取組や助成金の活用で意見交換

【東京】日本興亜福祉財団（以下「財団」）は、2016年度NPO基盤強化資金助成首都圏贈呈式が、1月31日（土）午後2時から、東京都港区赤坂の財団本社ビルで開かれた。この贈呈式には、財団理事の高橋雅也氏（左）と、公財擔保ジャパン日本興亜福祉財団の二宮雅也理事長（右）が出席し、高橋理事が二宮理事長から助成金の贈呈書を受け取った。高橋理事は、この助成金は、市民活動の活性化や、NPOの基盤強化に活用されることを期待している。また、高橋理事は、この助成金の活用を通じて、市民活動の活性化や、NPOの基盤強化に貢献することを期待している。



首都圏贈呈式 (2017. 1. 31)

保険毎日新聞 (2017. 2. 13)



首都圏贈呈式 意見交換会



関西地区贈呈式 (2017. 2. 2)

■平成29年2月2日 擔保ジャパン日本興亜福祉財団様より助成金をいただきました。

- 平成29年1月31日、新宿区にある擔保ジャパン日本興亜本社ビルで、2016年度NPO基盤強化資金助成首都圏贈呈式が開催され、(公財)擔保ジャパン日本興亜福祉財団の二宮雅也理事長から、助成金の贈呈書を受け取りました。
- この助成では、おもちゃの図書館全国連絡会が各地のおもちゃ図書館の特色ある活動の情報収集と、その情報を活用した広報誌やホームページでの情報発信を応援させていただきます。
- 助成金額は50万円で、おもちゃ図書館の活動活性化に生かしたいと思っています。
- 助成の贈呈に、心から感謝いたします。



おもちゃの  
図書館  
全国連絡会  
(東京)  
ホームページ



おもちゃの図書館  
蔵の街たんぽぽの会 (栃木)



障害者の就労支援「餃子の製造販売」  
プラス・ワン (岐阜)

# 2016年度「自動車購入費助成」贈呈先



誠桜の樹（熊本）



ゆっくりっくかわちながの（大阪）



しが盲ろう者友の会（滋賀）

**損保ジャパン財団が助成金**

損保ジャパン日本興亜福祉財団（東京）は25日、障害者の就労支援事業所を運営するNPO法人・いるかスマイル（岡山市東区可知）に、自動車購入用の助成金100万円を贈った一写真。

同法人で贈呈式があり、損保ジャパン日本興亜岡山支店（岡市北区大供）の佐藤浩支店長が「事業の発展やサービスの向上に役立ててください」と贈呈書を手渡した。受け取った高山弥理事長は「大変助かります」とお礼を述べた。

同財団は1999年度から障害者支援団体に自動車購入費を助成している。本年度は西日本地区で10団体を選び、岡山県内ではNPO法人・ワークサポート（美作市福本）にも100万円を贈った。

いるかスマイル（岡山）山陽新聞（2016.11.26）

# 2016年度「海外助成」贈呈式



タイ



カンボジア

<4> 「会議会合・国際交流費等助成」・「地域災害等緊急対策助成」

(予算：合算で3,500,000円)

(1) 会議会合・国際交流費等助成

2016年度は、以下の通り、2件250万円の助成を実施しました。

	助成先団体名	助成する事業名	助成金額 (万円)
①	日本障害フォーラム(JDF) 代表 阿部一彦	障害者権利条約の批准後の集中 啓発活動に係るシンポジウム、セ ミナー等の開催	150
②	公益社団法人認知症の人と家族の会 代表 高見国生	ADI国際会議(2017 in 京都)に向 けての国内準備	100

詳細は以下のとおりです。

①日本障害フォーラム(JDF)

障害者の権利に関する条約(以下、権利条約)は、日本において2014年1月20日に批准されました。2016年4月には障害者差別解消法が施行され、各種ガイドラインも策定されました。今後はどのように差別解消の取り組みに活かしていくのかが問われています。また、障害者基本法・障害者虐待防止法・障害者総合支援法の見直し等の国内法制度への対応が求められています。これらの活動を支援するものとして、1件150万円の助成を2016年9月20日の選考委員会で決定しました。

2016年12月6日に「JDF全国フォーラム」が東京で開催されました。

②公益社団法人認知症の人と家族の会

国際アルツハイマー病協会第32回国際会議が2017年4月に京都で開催され、世界100カ国以上から認知症の専門家をはじめ認知症本人や介護する人たちを含め約4,000人の参加が見込まれています。この会議に関して国内の認知症の当事者団体5団体が協力して「国内プレイベント開催」「事前準備会議開催」「SNS サイト製作」などの事前準備を行っています。これらの活動を支援するものとして、1件100万円の助成を2016年9月20日の選考委員会で決定しました。

2016年9月19日(京都)と同10月8日(東京)にプレイベントとしてフォーラムが開催されました。



(2) 地域災害等緊急対策助成

2016年度は、以下の案件に70万円の助成を実施しました。

助成先団体名	地域災害名称	助成金額 (万円)
きょうされん 専務理事 藤井克徳	熊本地震	70

詳細は以下のとおりです。

きょうされんは1977年に障害がある人が地域で働く共同作業所の連絡協議会として16カ所の小規模作業所が集まって結成されたもので、現在約1,900の会員事務所があります。主な活動は、自治体への要望活動、障害関連情報の提供、会員の安定した施設運営に寄与する活動および調査・研究などを行っています。2016年4月に地震が発生した熊本では、東日本大震災などの経験を踏まえ、災害発生直後より障害当事者や家族、事業所への支援を開始しました。「支援センター」を立ち上げるための要員や救援物資にかかる初動費用の一部を支援するものとして、1件70万円の助成を2016年5月11日の選考委員会で決定しました。

<5>在宅で高齢者を介護する家族の交流・研修資金助成（予算：7,800,000円）

(1) 交流会資金助成（予算：4,800,000円）

2016年度は、公益社団法人認知症の人と家族の会の26支部799名（認知症高齢者、医師・福祉関係者等を含む）に合計480万円の助成を実施することを2016年3月31日の選考委員会で決定しました。

(2) 研修会資金助成（予算：3,000,000円）

本年度新設した事業で、在宅で高齢者を介護する家族等を対象とした研修会等に関わる開催費用を助成するものです。今年度は北海道・東北・関東地区の介護家族の会および介護家族等を支援する団体を対象に5月から6月にかけて公募したところ22件の応募があり、2016年9月20日開催の選考委員会で、18団体に対し合計約230万円の助成を決定しました。

### 研修会資金助成先一覧

所在地	団体名	研修会等の名称、内容	助成金額 (万円)
北海道	北海道認知症の人を支える家族の会	研修会「認知症の特性をふまえた対応の仕方を学ぶ(仮題)」	12
北海道	伊達市介護者と共にあゆむ会	創立 20 周年記念家族介護体験発表会・講演会	5
北海道	北見市認知症の人と家族の会 (よりそいの会)	「認知症講演会」「認知症の理解と援助」 ～認知症になっても住み続けられる街づくり～	15
茨城	公益社団法人 認知症の人と家族の会茨城県支部	研修会・認知症男性介護者のつどい	15
栃木	特定非営利活動法人 福聚会	2025 年超高齢化社会に向けて～認知症介護の専門性と福祉の社会化を考えるフォーラム～	15
群馬	特定非営利活動法人 つなぎ手	傾聴ボランティア育成講座	15
埼玉	特定非営利活動法人 ユーアイネット柏原	在宅介護支援推進セミナー	15
千葉	公益社団法人 認知症の人と家族の会千葉県支部	研修会「男性介護者として認知症の家族を介護して思うこと」	15
千葉	NPOキラキラ応援隊	研修会「在宅療養家族の相談・支援」	12
千葉	はなみずき (市原市認知症介護の会)	フォーラム「認知症の方、若年性認知症の方への理解と支援」	15
千葉	NPO法人 ケアラーネットみちくさ	シンポジウム・勉強会 柏市在住の介護者の集い 「介護者と学びと介護者同士の語り」	15
千葉	特定非営利活動法人 こだま	おしゃべりカフェ睦沢inこだま・地域公開介護講座	15
東京	介護者のつどい東大和	映画「ペコロスの母に会いに行く」 上映会とトークセッション	15
神奈川	公益社団法人 認知症の人と家族の会神奈川県支部	講演会「看取りのコミュニケーション～終末期医療を考える～ターミナルから看取った介護家族のつどい(年 3 回)」	15
神奈川	特定非営利活動法人 さくら茶屋にししば	講演会(年 2 回)「認知症これだけ知れば怖くない」 「家族の介護の経験から」	11
神奈川	認知症を支える家族の会 かまくらりんどうの会	連続講座と研修会「笑顔を取り戻す介護(仮称)」	7
神奈川	平塚市介護の会はまゆう	シンポジウム「在宅介護を体験して得た大切なこと」	6
神奈川	厚木市認知症を抱える家族すみれ会	介護講談「ふまじめ介護-日頃の介護のヒントに-	10

<6>介護福祉士養成のための奨学金の給貸与（予算：7,200,000円）

2016年度は、4月に2年制専修学校のうち指定25校に対し学生の推薦を依頼した結果、20名の推薦を受けました。

2016年5月31日開催の選考委員会で選考を行い1年生10名の採用を決定しました。昨年度採用の2年生10名を含め20名に奨学金（1ヶ月3万円）総額720万円を支給しました。2017年2月末現在在籍の奨学生は下表のとおりです。

奨学生一覧

	氏名	専修学校	都道府県
1年生	A(女性)	東奥保育・福祉専門学院	青森県
	B(女性)	仙台医療福祉専門学校	宮城県
	D(男性)	東北医療福祉専門学校	福島県
	C(女性)	リリーこども&スポーツ専門学校	茨城県
	D(女性)	栃木介護福祉士専門学校	栃木県
	E(女性)	松山学園松山福祉専門学校	千葉県
	G(女性)	南海福祉専門学校	大阪府
	H(女性)	旭川荘厚生専門学院	岡山県
	I(女性)	福山福祉専門学校	広島県
	J(男性)	熊本YMCA学院	熊本県
2年生	K(女性)	せいとく介護こども福祉専門学校	北海道
	L(女性)	盛岡医療福祉専門学校	福島県
	M(男性)	秋田福祉専門学校	秋田県
	N(女性)	東北医療福祉専門学校	福島県
	O(女性)	松本医療福祉専門学校	長野県
	P(女性)	南海福祉専門学校	大阪府
	Q(男性)	旭川荘厚生専門学院	岡山県
	R(女性)	福山福祉専門学院	広島県
	S(女性)	熊本YMCA学院	熊本県
	T(女性)	宮崎医療管理専門学院	宮崎県

## 2. 福祉諸科学事業

### <1>研究助成

(1) 一般 (予算:2,000,000円)

2016年度第1回福祉諸科学事業選考委員会(2016年6月15日開催)で、1件180万円の研究助成を決定しました。助成内容は次の通りです。

申請者	研究題目	助成金額 (万円)
都筑 光一 東北福祉大学 社会福祉学部教授	災害派遣福祉チーム活動マニュアル(案)に関する調査研究	180

災害時の福祉支援対策は喫緊の課題ですが、未だその具体的な方法に関しては確立されていません。東日本大震災の際には、一般避難所に滞在していた福祉支援対象者に対する、福祉専門職による支援活動を展開した岩手県の災害派遣福祉チームの取り組みが注目を集め、熊本地震では熊本県の要請を受け、チームを派遣し成果をあげています。

災害派遣福祉チームによる活動は、設立を検討している県によって設立形態や活動のあり方などが様々であり、受け入れや支援の展開方法などを「活動のマニュアル」として作成する必要があります。そこで複数の県の協力を得て、災害派遣福祉チームの活動マニュアル(案)に関する研究を行い、関係する各県のマニュアルとして位置付けられるようにすることを目的とした研究をします。

(2) ジェロントロジー研究助成 (予算:4,000,000円)

2016年度は、「ジェロントロジーに関する社会科学・人文科学分野における独創的・先進的な研究」を対象として4月から7月にかけて公募したところ、48件の応募があり、2016年10月6日開催の選考委員会で、16件の対象者に対し2年合計約800万円(各年度半額づつ支給)の助成を決定しました。これらの研究は2018年3月末完了の予定です。

また、前回(2014年度)助成対象者の研究成果を取りまとめ、2016年10月に「ジェロントロジー研究報告 No.12」を発刊し、高齢者福祉に係る諸団体、関係学会、都道府県図書館等に贈呈しました。

## 2016年度 ジェロントロジー研究助成 対象者一覧

※共同研究の場合は代表研究者 (敬称略)

形態	対象者※	所属	研究テーマ	助成金額 (万円)
共同	伊藤直子	日本医療科学大学	高齢者の嚥下機能に及ぼす呼吸筋トレーニングの効果	50
共同	伊藤美智予	認知症介護研究・研修大府センター	災害時における認知症ケアマネジメントに関する研究—地域で暮らす認知症の人と家族が直面する課題と支援策の検討	50
共同	井上忠俊	恩賜財団済生会 むさし苑グループ 大野城市南デイサービスセンター南風	地域在住高齢者における眼球運動と歩行の安定性の特徴 — 認知症早期発見に対する評価手法の妥当性の検討—	50
単独	大木裕子	東洋大学	文化の消費者として的高齢者～「大人の遊び場」創出による豊かな生活の実現	50
共同	岡崎研太郎	名古屋大学 大学院	要介護・要支援の在宅高齢者を対象とした参加型演劇ワークショッププログラムの改良と効果の検証 ～社会実装を見据えて～	50
共同	岡村毅	東京大学医学部 附属病院	認知症の人の社会的包摂を実現するための稲作ケアの試み	50
共同	小倉真衣	京都大学 大学院	住民同士のつながりが強い中山間地域における高齢者の「自ら選んだ」社会的孤立とフレイルおよびQOLとの関連に関する研究	50
単独	木村由香	横浜国立大学 大学院	高齢者が終活を進めるうえでの課題と支援のあり方に関する研究	50
単独	榊原良太	鹿児島大学	高齢者の幸福感の上昇はいかにもたらされるのか:感情制御発達という視座からの検討	50
共同	鈴木淳一	東京大学	ヒト型ロボットによる認知症患者の認知機能の改善効果の検討	50
共同	高橋幸裕	尚美学園大学	介護現場における介護職と看護職による「看取り」と「死」の持つ意味の差異を踏まえたケアの提供方法と連携方法の構築に関する研究	50
単独	長尾匡子	千里金蘭大学	高齢者の終末期医療についての意思決定に関わる 看護師への支援プログラムの開発 — インフォームド・コンセントにおける専門職としての役割遂行を目指して—	50
共同	永野志歩	高知大学医学部 附属病院	老年期の軽度認知障害者とADHDの有病率の検討	50
単独	野坂真	早稲田大学	災害後の地域社会における高齢者の生きがいづくりと経験・記憶の継承に関する実践的研究 —岩手県大槌町における地域アーカイブ活動を中心事例として—	49
共同	原田和弘	神戸大学大学院	ワーク・エンゲイジメントが高齢夫婦の満足度・精神的健康に及ぼす影響	50
共同	松本博成	東京大学大学院	要介護高齢者におけるデイサービスでの社会化プロセスに関する縦断的質的研究:デイサービスを利用し始める要介護高齢者は、その場の文化をどのようなものとして理解し、その場のコミュニティにどのように溶け込むのか?	50

## 2016年度「研修会資金助成」首都圏贈呈式と新聞記事



首都圏贈呈式 意見交換会 (2016. 10. 24)



高齢者の在宅介護を支援

介護家族支援する18団体に



保険毎日新聞 (2017. 2. 13)

## 2016年度「ジェロントロジー研究助成」

### 首都圏贈呈式



首都圏贈呈式 (2016. 11. 21)



2014年度助成  
報告冊子

## 2016年度介護福祉士養成のための奨学金給与



奨学生 (旭川荘厚生専門学院)



介護実習 (南海福祉専門学校)

## ＜2＞研究会

以下の3つの研究会を運営しました。

### (1) 保険業法に関する研究会

主査：山下友信（同志社大学教授）

損保ジャパン日本興亜株式会社法務部と連携し、「保険業法」にかかるテーマで3回開催しました。

#### テーマ

第49回研究会「保険募集一般に係る情報提供義務」（2016年6月3日）

第50回研究会「募集規制の適用範囲の見直し」（2016年7月22日）

第51回研究会「保険業法に関する実務的論点」（2017年1月27日）

### (2) 福祉マネジメント研究会

主査：大橋謙策（公益財団法人テクノエイド協会理事長）

損保ジャパン日本興亜総合研究所株式会社と連携して、社会福祉分野における社会起業家の人材育成に必要な「ケーススタディ教材」「印刷教材」および「講師用指導資料」などの作成を目的に研究会やシンポジウムを開催しました。また、上記の教材等は叢書として刊行の予定です。

#### ①研究会

第1回研究会（2016年5月27日） ケーススタディヒアリング

第2回研究会（2016年7月13日） ケーススタディヒアリング

#### ②シンポジウム

第3回シンポジウム（2016年5月28日）

場所：テクノエイド協会

テーマ：「ニーズ対応型福祉サービスの開発と起業化」

コメンテーター：伊藤真理子氏（同朋大学教授）、呉世雄氏（宇都宮大学講師）、野村裕美氏（同志社大学准教授）

第4回シンポジウム（2016年9月12日）

場所：同志社大学

テーマ：「ニーズ対応型福祉サービスの開発と起業化  
ソーシャルワーク教育に望むもの」

パネリスト：藤野将睦氏（ビーサイドユー株式会社代表取締役）

山口浩志氏（特定非営利活動法人どりーまあサービス理事長）

戸枝陽基氏（社会福祉法人むそう理事長）

コメンテーター：鈴木直也氏（特定非営利活動法人企業支援ネット副代表理事）

小林篤氏（損保ジャパン日本興亜総合研究所アカデミア）

### (3) ジェロントロジー研究会

主査：秋山弘子（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）

損保ジャパン日本興亜総合研究所株式会社と連携して、研究会を6回開催しました。高齢者や高齢社会をめぐる諸問題を明確にし、その解決に向けての研究を通じて、豊かな長寿社会の発展に貢献することを目的としています。今年度は前年度に引き続き「高齢労働者の働き方」等をテーマに研究を進め、研究内容を財団叢書「世代間の認識ギャップからみたシニア就労の現状と課題 -ダイバーシティ雇用環境の実現に向けて-」にまとめ、4月刊行の予定で作業を行いました。

### 3. 社会福祉学術文献表彰事業

#### <1> 講演会・シンポジウムの開催

第17回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞受賞記念講演会・シンポジウムを開催しました。概要は以下のとおりです。

- ・日時：2016年7月23日（土）午後1時から午後5時
- ・場所：グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）
- ・後援：厚生労働省、一般社団法人日本社会福祉学会、一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟、日本地域福祉学会、日本社会福祉系学会連合

#### ・プログラム

##### 第1部：受賞記念講演会

受賞著書：「病の共同体—ハンセン病療養所における患者文化の生成と変容—」

受賞者(発表者)：青山 陽子氏（成蹊大学ほか非常勤講師）

##### 第2部：シンポジウム

テーマ：『利用者の「生活」から福祉の「場」を考える』

コーディネーター：岩田 正美氏（日本女子大学名誉教授）

パネリスト：谷口 由希子氏（名古屋市立大学准教授）

橋本 明氏（愛知県立大学教授）

向井地 生良氏（社会福祉法人 浦河べてるの家理事、

北海道医療大学教授）

コメンテーター：青山 陽子氏（成蹊大学ほか非常勤講師）

#### <2> 叢書

上記の講演会とシンポジウムの内容を財団叢書No. 89「第17回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞受賞記念講演録」として2017年3月に公表しました。

#### <3> 2016年度「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の実施

2016年度の損保ジャパン日本興亜福祉財団賞には、指定推薦者から24件22編が推薦されました。審査委員会は2016年9月8日、11月6日、12月18日の3回にわたり、当財団会議室にて開催されました。

審査委員会において厳正な審査の結果、以下記載の著書1編が授賞に相応しい候補文献として選定され、2017年1月26日の理事会で決定されました。

- ・受賞著書：『ソーシャルワークにおける「価値」と「原理」  
—「実践の科学化」とその論理構造—』（ミネルヴァ書房 2015年10月発行）
- ・受賞者：衣笠 一茂 氏（所属 大分大学福祉健康科学部 学部長 教授）
- ・表彰内容：賞状 記念品 研究・出版助成金 100万円

贈呈式を、2017年3月9日に損害保険ジャパン日本興亜本社ビル43階で開催しました。また、受賞著書の出版社であるミネルヴァ書房と、推薦者である岡本民夫氏（同志社大学名誉教授）および副田あけみ氏（関東学院大学教授）に対し、感謝状及び記念品を贈呈しました。



なお、損保ジャパン日本興亜福祉財団賞受賞記念講演会・シンポジウムは2017年7月1日（土）にグランドアーク半蔵門での開催を予定しています。

#### <4>研究奨励金の贈呈

損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の審査過程で、財団賞には及ばないものの優れた著作（佳作）であると評価された特に若手の著者を対象に、研究奨励金（30万円）を助成します。

2016年12月18日の審査委員会において、以下の方への助成を決定しました。

- ・研究奨励金受領者：畠山 由佳子氏（神戸女子短期大学准教授）
- ・著書名：『子ども虐待在宅ケースの家族支援—「家族維持」を目的とした援助の実態分析—』

（明石書店 2015年11月発行）

2016年度「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」贈呈式  
(2017年3月9日 損保ジャパン日本興亜本社ビル43階にて)



二宮理事長



岩田審査委員長



来賓挨拶

厚生労働省 社会・援護局 藤原総務課長



受賞者：衣笠一茂氏  
(大分大学福祉健康科学部  
学部長 教授)



研究奨励金  
畠山由佳子氏  
(神戸女子短期大学  
幼児教育学科准教授)



贈呈式後の懇親会の様子

#### 4. 資金運用状況

財団の基本財産については、資金運用規程に則り、投資有価証券の継続保有および銀行預金で運用しました。なお、財団が保有している債券は基本財産で、全て満期保有を目的としています。2016年度には以下の3件が満期償還を迎えました。資金運用規程に従い、安全性・確実性を考慮し以下のとおりとしました。

満期償還債券	新規購入債券他
利付国債第97回 ・額面：1億5千5百万円 ・利率：0.4% ・償還日：2016年6月20日	大阪府公募公債第409回 ・額面：1億円 ・利率：0.043% ・償還日：2026年6月29日
	決済用普通預金（無利息型普通預金） 5千5百万円
第16回政府保証日本政策投資銀行債 ・額面：6千万円 ・利率：1.8% ・償還日：2017年2月28日	新潟市平成28年度第1回公募公債 ・額面：1億円 ・利率：0.165% ・償還日：2026年12月22日
北海道平成18年第12回公募公債 ・額面：6千万円 ・利率：1.9% ・償還日：2017年2月28日	決済用普通預金（無利息型普通預金） 2千万円

また、運用財産（基本財産以外の財産）は、安全性と流動性を考慮し銀行預金で運用しました。

#### 5. その他の特記事項

内閣府への届出等

- 2016年4月 4日 変更の届出（事業内容：研修会資金助成の追加）
- 2016年4月11日 変更の届出（理事の退任）
- 2016年6月29日 事業報告等の提出
- 2016年7月12日 変更の届出（理事再任および評議員の退任、新任、再任）
- 2017年3月14日 事業計画等の提出（2017年度分）

## 庶務の概要

### 1. 役員等に関する事項

役員等の氏名は次の通り。(常勤者に<常勤>表示) (五十音順、2017年3月31日現在)

職名	氏名	摘要
理事長	二宮 雅也	損害保険ジャパン日本興亜株式会社代表取締役会長
専務理事	岡林 秀樹	<常勤>公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
専務理事	高野 茂	<常勤>公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
理事	秋山 弘子	東京大学 高齢社会総合研究機構特任教授
	大橋 謙策	公益財団法人テクノエイド協会理事長、東北福祉大学大学院教授
	小林 光俊	学校法人敬心学園理事長
	清水 勉	元日本興亜損害保険株式会社取締役専務執行役員
	冷水 豊	元上智大学教授
	竹内 孝仁	国際医療福祉大学大学院教授
	田中 滋	慶応義塾大学名誉教授
	長嶋 紀一	日本大学名誉教授
	長谷川 和夫	社会福祉法人浴風会認知症介護研究・研修東京センター名誉センター長
	古川 貞二郎	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長・元内閣官房副長官
	森脇 昭夫	名古屋大学名誉教授
	山口 浩	<常勤>公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
	和田 正江	主婦連合会常任幹事
監事	小林 豊	公認会計士
	新里 智弘	公認会計士
評議員	池田 輝彦	みずほ信託銀行株式会社顧問
	石田 満	法学博士 上智大学名誉教授
	石橋 みゆき	築根クリニック副院長
	氏家 佳世子	損害保険ジャパン日本興亜株式会社CSR室長
	江頭 憲治郎	法学博士 早稲田大学大学院教授
	大島 雄次	明治安田生命保険相互会社名誉顧問
	大塚 義治	日本赤十字社副社長
	岡澤 憲芙	早稲田大学名誉教授
	落合 誠一	東京大学名誉教授
	角川 与宇	元日本興亜損害保険株式会社代表取締役副社長執行役員
	金澤 理	法学博士 早稲田大学名誉教授
	京極 高宣	社会福祉法人浴風会理事長
	柴田 博	桜美林大学名誉教授・特任教授
	清水 重夫	元株式会社資生堂代表取締役執行役員副社長
	杉崎 重光	ゴールドマン・サックス証券株式会社副会長
	炭谷 茂	社会福祉法人恩賜財団済生会理事長

田村 康弘	東京ベイヒルトン株式会社専務取締役
鳥居 泰彦	慶応義塾学事顧問(同元塾長)、一般財団法人交詢社理事長
直井 道子	桜美林大学大学院特任教授
西浦 英次	元社団法人日本損害保険協会専務理事
西崎 哲郎	東京国際コンサルティング株式会社会長
橋本 和生	元日本興亜損害保険株式会社代表取締役副社長執行役員
弘中 徹	弁護士法人弘中総合法律事務所代表社員・弁護士
藤川 久昭	青山学院大学法学部教授・弁護士
前田 晃伸	みずほフィナンシャルグループ名誉顧問
三好 次夫	元ユニバース開発株式会社代表取締役社長
山下 友信	同志社大学教授
涌井 洋治	公益財団法人アフィニス文化財団理事長

職名	氏名	摘要
選考委員 (社会福祉)	和田 敏明 安藤 雄太 氏家 佳世子 奥野 英子 内藤 佳津雄 中島 謙次	ルーテル学院大学名誉教授 法政大学現代福祉学部兼任講師 損害保険ジャパン日本興亜株式会社CSR室長 日本リハビリテーション連携科学学会顧問 日本大学教授 社会福祉法人中央共同募金会常務理事
選考委員 (奨学金)	竹内 孝仁 上野谷加代子 冷水 豊 松村 孝雄 山口 保	国際医療福祉大学大学院教授 同志社大学教授 元上智大学教授 東海大学名誉教授 公益財団法人日本介護福祉士養成施設協会常務理事
選考委員 (福祉諸科学)	京極 高宣 高橋 紘士 広井 良典 本山 浩一 山下 友信	社会福祉法人浴風会理事長 一般財団法人高齢者住宅財団理事長 京都大学教授 損保ジャパン日本興亜総合研究所株式会社取締役社長 同志社大学教授
選考委員 (ジェロントロジ ー研究)	長嶋 紀一 今井 幸充 上野谷加代子 冷水 豊 袖井 孝子 竹内 孝仁 松村 孝雄	日本大学名誉教授 和光病院院長 同志社大学教授 元上智大学教授 お茶の水女子大学名誉教授 国際医療福祉大学大学院教授 東海大学名誉教授
審査委員 (社会福祉 学術文献表彰)	岩田 正美 岩崎 晋也 芝野 松次郎 菅沼 隆 水巻 中正 和氣 純子	日本女子大学名誉教授 法政大学現代福祉学部学部長 関西学院大学教授 立教大学教授 国際医療福祉大学大学院教授 首都大学東京大学院教授

職名	氏名	摘要
顧問	右田 紀久恵	大阪府立大学名誉教授
	岡本 民夫	同志社大学名誉教授
	黒田 研二	関西大学教授
	小林 良二	東京都立大学名誉教授
	白澤 政和	桜美林大学大学院教授
	高宮 洋一	城西国際大学教授
	田中 皓	公益財団法人助成財団センター専務理事
	田端 光美	日本女子大学名誉教授
	福山 和女	ルーテル学院大学名誉教授
	古川 孝順	西九州大学教授
	宮武 剛	一般財団法人日本リハビリテーション振興会理事長

## 2. 職員等に関する事項

従業員は次の通り。

(2017年3月31日現在)

区分	氏名	就業年月日	備考
事務局長	丹保 有充	2010年 4月 1日	損害保険ジャパン日本興亜(株)より出向
主任	渡部 由里	2008年 9月 1日	
主事	尾根 桂子	2013年 8月 1日	

### 3. 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会の開催

開催日	会議事項	結果
2016年 6月 2日 2016年度 第1回通常理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 2015年度の事業報告及び決算承認の件(決議) 第2号議案 選考委員の選任の件(決議) 第3号議案 定時評議員会開催の件(決議)	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた
2016年 6月 28日 2016年度 第1回臨時理事会	第1号議案 理事長の選定の件(決議) 第2号議案 専務理事の選定の件(決議) 第3号議案 役員報酬の件(決議) 第4号議案 理事長、専務理事の職務執行状況の件(報告) 第5号議案 理事の利益相反取引の件(報告)	全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員了承 全員了承
2017年 1月 26日 2016年度 第2回臨時理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 2016年度「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」選考の件	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた
2017年 3月 9日 2016年度 第2回通常理事会	第1号議案 2016年度の事業経過報告の件(報告) 第2号議案 理事長・専務理事の職務執行状況の件(報告) 第3号議案 2017年度の事業計画及び収支予算等の件(決議) 第4号議案 選考委員の選任の件(決議) 第5号議案 審査委員の選任の件(決議) 第6号議案 顧問の選任の件(決議) 第7号議案 規程の改定の件(決議) 第8号議案 理事の利益相反取引の承認(決議)	全員了承 全員了承 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決
2017年 3月 23日 2016年度 第3回臨時理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 事務局長の選定の件(4月1日付)(決議)	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた



(2) 評議員会の開催

開催日	会議事項	結果
2016年 6月28日 定時評議員会	第1号議案 2015年度事業報告の件 (報告)	全員了承
	第2号議案 2015年度決算承認の件 (決議)	全員一致で承認可決
	第3号議案 2016年度の事業計画及び収支予算等の件 (報告)	全員了承
	第4号議案 評議員の選任の件 (決議)	全員一致で承認可決
	第5号議案 理事の退任の件 (報告)	全員了承
	第6号議案 理事の選任の件 (決議)	全員一致で承認可決
	第7号議案 選考委員の選任の件 (報告)	全員了承

(3) 選考委員会・審査委員会の開催

開催日	委員会の内容
2016年 5月11日	第1回社会福祉事業選考委員会 地域災害等緊急対策助成の選考 (1件の助成決定)
2016年 5月31日	奨学金助成事業選考委員会 2016年度奨学生の選考 (10名の支給決定)
2016年 6月15日	第1回福祉諸科学事業選考委員会 研究助成の選考 (1件の助成決定)
2016年 9月 8日	第1回社会福祉学術文献表彰事業「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」 審査委員会 (第1次審査)
2016年 9月20日	第2回社会福祉事業選考委員会 ①「自動車購入費」助成の選考 (10件の助成決定) ②会議会合・国際交流費等助成の選考 (2件の助成決定) ③研修会資金助成の選考 (18件の助成決定)
2016年10月 6日	ジェロントロジー研究助成事業選考委員会 2016年度ジェロントロジー研究助成の選考 (16件の助成決定)
2016年11月 6日	第2回社会福祉学術文献表彰事業「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」審査委員会 (第2次審査)

開催日	委員会の内容
2016年12月 8日	第3回社会福祉事業選考委員会 ①「NPO基盤強化資金」助成の選考（41件の助成決定） ②海外助成の選考（5件の助成決定）
2016年12月18日	第3回社会福祉学術文献表彰事業「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」審査委員会（推薦文献1件、研究奨励金1件の決定）
2017年 3月23日	第4回社会福祉事業選考委員会 在宅で高齢者を介護する家族の交流及び研修資金助成の選考（1件の助成決定）

#### 4. 許可、認可および承認に関する事項

該当はありません

#### 5. 寄付金に関する事項

損害保険ジャパン日本興亜株式会社より88,000,000円の寄付を受けました。

このほか法人28件2,350,000円、個人1,849,000円の寄付を受けた結果、本年度の寄付金の合計は、92,199,000円となりました。

寄付者名	寄付金額 (千円)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	88,000
SOMPO企業保険金サポート株式会社	100
SOMPOビジネスソリューションズ株式会社	200
SOMPOリスクアマネジメント株式会社	200
損保ジャパン日本興亜総合研究所株式会社	100
SOMPOビジネスサービス株式会社	70
SOMPOシステムズ株式会社	100
SOMPOビルマネジメント株式会社	100
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社	100
株式会社インシュアランスマネジメントサービス	100
株式会社プライムアシスタンス	100
SOMPOコミュニケーション株式会社	100
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社	100
損保ジャパン日本興亜キャリアビューロー株式会社	50
サンビル株式会社	100
ユニバース開発株式会社	100

寄 付 者 名	寄付金額 (千円)
吉田印刷株式会社	100
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社	100
日宝株式会社	30
SOMPOキャリアスタッフ株式会社	100
SOMPOクレジット株式会社	100
SOMPOワランティ株式会社	200
SOMPOケア株式会社	100
個人	1,849
寄付金合計	92,199

#### 6. 行政庁指示に関する事項

該当はありません。

#### 7. その他の重要事項

該当はありません。

2016年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。

